

平成31年度（2019年度）第16回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年（2020年）3月20日（金・祝）11時～11時45分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	進藤 三雄
環境共生学研究科長	北原 昭男
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	和久田 恭生

欠席：地域連携政策センター長	丸山 泰
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春

事務局：手島事務局次長、三隅教務入試課長、平山教務入試課教務班長、
佐藤教務入試課入試班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和2年度入学者選抜における合格者の決定について（一般入試・後期日程）

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき「試験は3月12日に実施し、募集人員計142名に対して、志願者数は計1,242名、受験者数は計496名。計178名を合格と判定している。合格発表は、本日13時30分から行う。また、入学手続きの結果、募集人員に達しなかった場合、3月28日に追加合格の手続きを行う。結果については、4月の教育研究会議で報告する。」との説明があった。

続いて、各学部長から資料1-2に基づき説明があった。

文学部長から、「文学部日本語日本文学科は、10名の募集人員に対して、103名が志願、34名が受験した。得点の上位13名までを合格としたい。英語英米文学科は、10名の募集人員に対して、117名が志願、33名が受験した。得点の上位18名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

環境共生学部長から、「環境資源学専攻は、12名の募集人員に対して、195名が志願、57名が受験した。得点の上位17名までを合格としたい。居住環境学専攻は、12名の募集人員に対し、145名が志願、68名が受験した。得点の上位16名までを合格としたい。食健康環境学専攻は、8名の募集人員に対して、91名が志願、29名が受験した。得点の上位10名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

総合管理学部長から、「A方式は、40名の募集人員に対し、301名が志願、142名が受験した。得点の上位46名までを合格としたい。B方式は、50名の募集人員に対し、290名が志願、133名が受験した。得点の上位58名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

- ② 令和2年度（2020年度）入学者選抜（大学院秋季入学）の実施方針について
事務局教務入試課から、資料2に基づき「博士後期課程の秋季入学者の入学者選抜の実施方針について御審議いただきたい。例年と同様に、募集人員はいずれも若干名、環境共生学研究科とアドミニストレーション研究科は「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」の選抜区分を設けている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

- ③ 令和2年度（2020年度）入学者選抜（秋季入学・外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠））の実施方針について
事務局教務入試課から、資料3に基づき「秋季入学・外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠）の実施方針について御審議いただきたい。募集する研究科は環境共生学研究科博士後期課程。大学院秋季入学・外国人留学生特別選抜の中の特別枠として行う。募集人員は2名。選抜方法は英語の学力試験と口頭試験を行う。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

松添地域活力創生センター長から、「3月末をもって5年間続いたCOC+事業が終了することから地域活力創生センターを閉鎖するが、COC+事業における本学の責務は果たせたものと思っている。」との報告があった。

5 閉会